

AEO事業者としての体制維持と 実効性のある内部監査

～PDCAサイクルを機能させ、コンプライアンスを確立する～

1. 内部監査の重要性

～自社の業務遂行状況を客観的に振り返る役割～

内部監査が果たすべき3つの役割



PDCAの機能

法令遵守体制を維持するために、改善サイクルを回すための重要な基点となります。



客観的な振り返り

現場の業務が、規定されたCPや手順書通りに行われているかを第三者の視点で確認します。

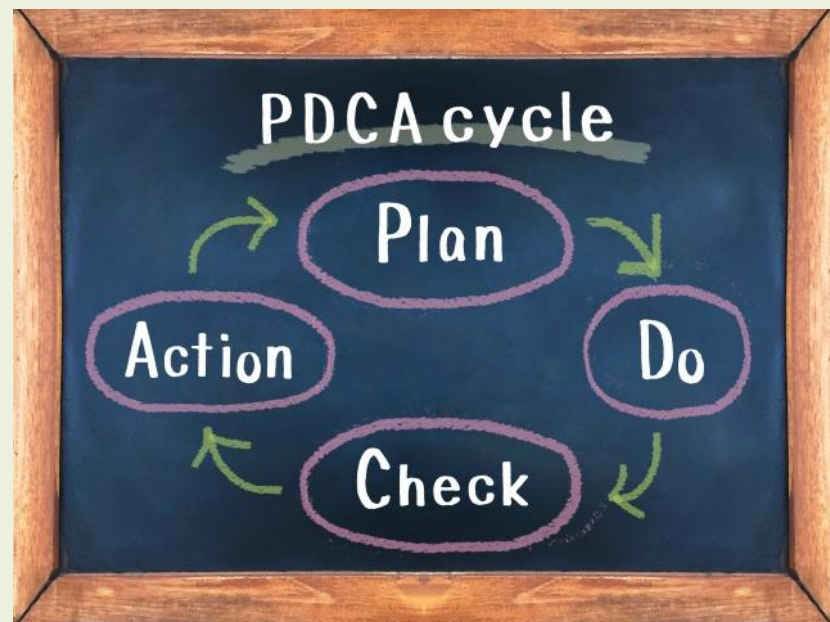


形骸化の防止

パターン化された形だけの監査を脱却し、実効性のある法令遵守体制を支えます。

内部監査がパターン化していませんか？

- ⚠ 前回の監査項目をそのままコピーしていませんか？
- ⚠ 形式的な書類の有無の確認のみになっていませんか？
- ⚠ 法令改正や組織変更が監査項目に反映されていますか？



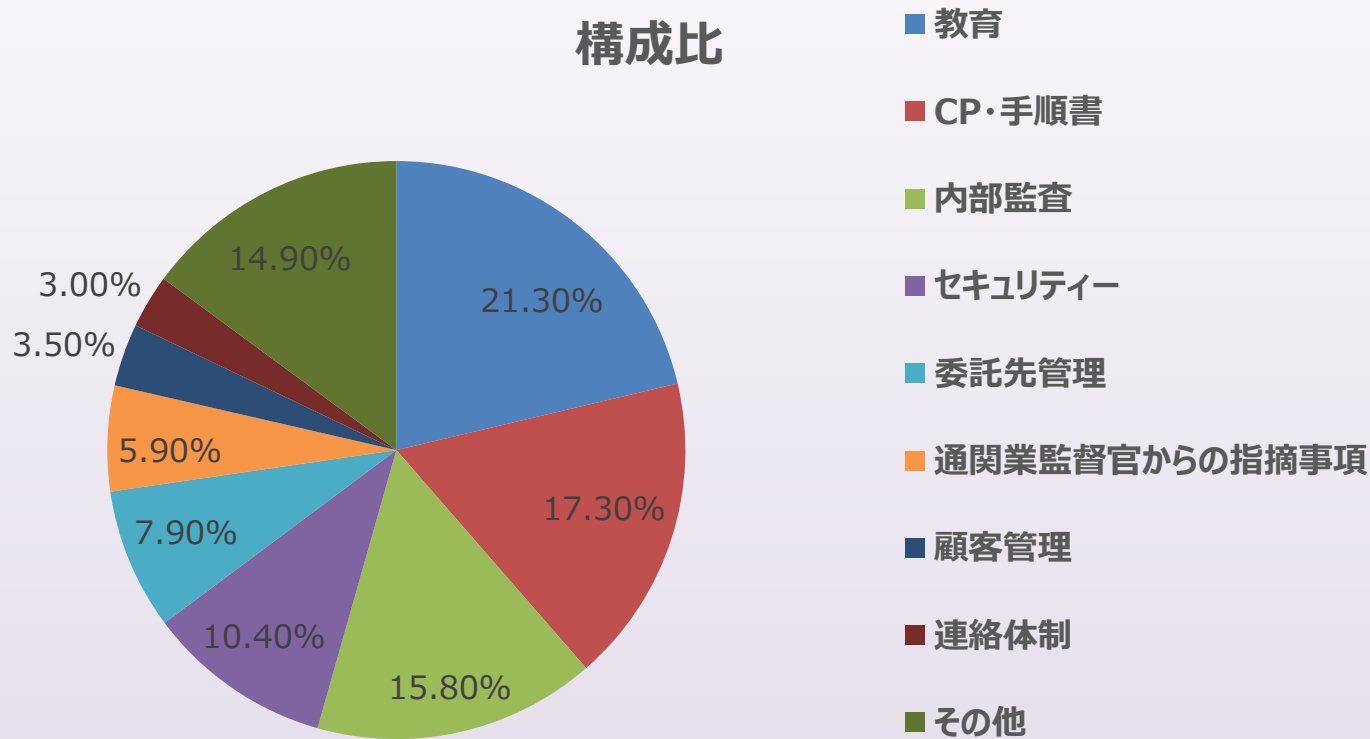
実効性ある継続的な実施のために、

年度ごとチェックする課題や項目の見える化ができていますか？

2. 事後監査結果の振り返り

～全国の税関が実施した事後調査から見てきた課題～

事後監査における指摘・提案事項の構成比



※令和6年7月～令和7年6月の実施実績
特に「教育」と「CP・手順書」に課題が集中しています。

主な指摘事項：内部監査



内部監査の課題

- ✕ 監査項目が長年見直されていない
- ✕ 監査部門ではなく、管理部門任せになっている
- ✕ AEO固有の安全管理項目が不足

主な指摘事項：教育・CP・手順書・セキュリティ



教育の課題

- ✕ 定期的な教育が計画通り行われていない
- ✕ 経営層がAEO制度を十分に理解していない
- ✕ 総括部門が各現場の教育状況を把握できていない



セキュリティ・他

- ✕ 貨物保管施設の状況が把握できていない
- ✕ 総括管理者が一人に固定（後継者不足）
- ✕ 不正アクセス防止ルールが未徹底



手順書の課題

- ✕ 内容が古く、実態と乖離している
- ✕ 存在しない部門名や古い様式が残っている
- ✕ 担当者が手順書の保管場所を知らない

これよりすぐセルフチェックをされてみてください！！



研修を「する」ことが目的に
なっていませんか？



法令改正は手順書に反映
されていますか？



実効性のある監査体制が
構築できていますか？

AEO体制維持に向けた外部支援の活用

モノグローブイデアがサポートいたします！！

認定後の体制維持には継続した多くの課題が伴います。

実践に基づく経験豊富な当社スタッフが貴社AEOプログラムを強力に支援します。



- ✓ 内部監査員の育成と人的配置の確保
- ✓ PDCAを機能させる事故再発防止策
- ✓ CP・手順書の最新化と社内浸透
- ✓ コンプライアンス意識向上のための教育支援

ご相談・お問い合わせ

体制維持・実効性確保・AEO事業者としてのステータス確保！
のため積極的なアクションを！

お問い合わせ先

モノグローブアイデア合同会社



東京都中央区日本橋1-2-10 3F



03-5944-6524



info@monogroveidea.jp

AEO制度に関するお困りごとは、まずはこちらへ！

皆さまからのお問合せをお待ちしております。